

入園してから2か月が経ち、一人ひとりのペースであり組の生活に慣れ、日に日に行動範囲が広がってきました。すり這いやはいはい、伝い歩きで気になるおもちゃを取りに行ったり、座りながら近くのおもちゃに手を伸ばしたりして、保育者に見守られ安心して探索活動を楽しんでいます。また大学構内への散歩は抱っこひもやバギーに乗りながら心地よい風に触れたり、景色を見たりすることを楽しんでいます。園庭や大学の芝生にシートを敷くとその上でシロツメクサや葉っぱ、砂の感触に驚きながらも触れることを楽しんだり、保育者がシャボン玉を飛ばすと手を伸ばし、割れる様子に「あー！」と笑ったり、身近な自然に触れてみようとする姿も見られます。これからも子どもたちの様々な思いを受けとめながら安心して園生活を過ごせるようにゆったりと関わっていききたいと思います。

6月は梅雨に入り雨の多い季節になりますが、室内でもトンネルや様々なマットを使って体を動かすことを楽しみます。また、晴れた日は園庭や散歩に出かけ、自然を感じながら草木や花などを見たり触ったりする中で、子どもの気づきに寄り添い、心を動かす経験を大切に過ごしたいと思います。



「おふねがぎっちらこ」

というわらべうたを保育者と一緒に繰り返しています。

友だちと保育者が触れ合って遊ぶ姿を見て、その場で体を揺らしたり「ざぶざぶざぶ〜♪」のフレーズの前になると、くるぞ！と言わんばかりに、にっこり笑顔を見せて待っていたり、今では子どもたちのお気に入りのわらべうたです。触れ合う中であたたかいやりとりを大切に過ごしていききたいと思います。

ひよこ組になり2か月が経ちました。園での生活に慣れてきて、笑顔で過ごす時間が増えてきました。

室内では好きな遊びを見つけて過ごし、保育者や友だちと一緒にBブロックで車を作ったり、ままごとでさんびかを歌ってご飯を食べる仕草をしたりして楽しんでいる子どもたちです。朝の牛乳を飲む際には一日を楽しく過ごせるように、その日のプログラムを分かりやすく伝えています。戸外へ遊びに行くことを伝えると、「ありさん！」「だんごむし！」と目を輝かせて喜んでいます。園庭に出るとスコップやバケツを持って虫探しをする姿もよく見られるようになり、ありを見つけるとバケツに入れて友だちと一緒に観察をしたり、見つけたシロツメクサを大事そうに握ったりと、自然に触れることをとても楽しんでいます。

生活面では自分のマークを保育者と一緒に確認しながら帽子や靴を片付けたり、ズボンの上げ下げをしようとしていたりしています。一人ひとりのやってみようとする姿を見守ったり、難しいところは手を添えたりし、子どもたちの意欲を大切に過ごしていききたいと思います。

今月は雨の多い季節になりますが、梅雨の晴れ間に散歩に出かけ、雨上がりならではの時間を過ごしたいと思います。また、制作では、子どもたちの好きな車を使った絵の具遊びを体験し、一人ひとりが表現することを楽しむ中で、七夕に触れる機会も持ちたいと思います。楽しみにしててください。



食後には自分の

エプロンと口拭きタオルを重ねてからくるくると丸めて片付けをします。

Aくんはいつも昼食を食べ終わると…

「えぶろんねんね」

「Aくんもねんね」と言いながら片付ける姿がとてもほほえましいです。

りすぐみの生活に慣れ、友だちや保育者と一緒に元気いっぱい戸外で追いかっこやかくれんぼなどをして体を動かして遊ぶ子どもたちです。乳児園庭では、保育者と一緒に砂山を作ってトンネルを掘り、電車や車をそーっと通して「通れた！」と友だちと顔を見合わせて喜びほほえましい姿も見られます。大学の森まで友だちと手を繋いで散歩をすることも楽しんでおり、友だちと一緒に歩きながら、「あ！タンポポあった！」「ちょうちょさん飛んでるね」等、様々な発見や驚きを言葉や動き、表情などで表現しています。一人ひとりの発見や興味に寄り添ったり、友だちと一緒にやりとりをすることの楽しさや喜びに共感したりして関わっていききたいと思います。

のりを使った制作では、手にのりが付く感触を楽しんだり、好きな色や形を選んで貼ると「くっついたよ！」と嬉しそうに教えてくれたり、初めてののりに触れる経験をし、素敵な傘に変身しました。これからも様々な素材に触れ、一人ひとりの表現を大切にしながら楽しんでいききたいと思います。また七夕制作を楽しみます。濡らした和紙に好きな色の絵の具を垂らし、にじんで色が混ざる様子を見たり、一人ひとりの表現を楽しむ中で織姫と彦星の服になっていきます。一人ひとりが思い思いに表現する姿を大切にしながら楽しみたいと思います。



大学の森で、Aくんが

「先生、ありさん狭いよ！」と教えてくれたので見てみると、

切り株の上の穴の中に小さなありが3匹歩いていました。

様子を見に来たBちゃんも一緒に、「ありさんがんばれ」「出れるかな」と話す姿に、とってもほっこりしました。

これからも小さないのちを大切に思う気持ちに共感して関わっていききたいと思います。